

9条連 ニュース

憲法9条—世界へ未来へ 連絡会
Peace Constitution League
Since 1995.8.15

No.345

2023年11月20日 毎月1回 20日発行 1997年4月14日第3種郵便物認可

主な記事

巻頭言 秋山 淳子	1
9条の価値と、「改憲」を止める方法 小林 節 ...	2,3
辺野古訴訟最高裁判決及び代執行裁判における 国の主張の問題点 徳田 博人 ...	4,5
神奈川9条連 橋本 幸祐	6
未来への道標	6
政治展望台 60 高野 孟	7
本の紹介	8
アーティクルナイン	8

代表 浅井基文/浅野健一/植野妙実子/C・ダグラス・ラミス
常岡せつ子/中山弘正/樋口陽一/山家悠紀夫

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
目黒さつきビル303号
TEL 03-5747-9994
FAX 03-5747-9919



ホームページはこちら

https://9joren.net/ E-mail:9joren@ams.odn.ne.jp 創刊号1995年1月20日発行 定価100円 年間購読料1,500円(郵送料含む) 郵便振替口座 00160-2-96579「9条連」

家

父長制政治を葬ろう!と安倍元首相の国葬反対に声を挙げた女性達の声は届かず、昨9月27日、政府は真摯な議論もせず、国葬を強行した。あれから一年、ようやく統一教会の解散請求が決定した。しかしこれは単なる始まりに過ぎぬ。10月13日、細田前衆議院議長の記者会見は、国の主権者は誰かという事を一番理解していない政権政党の、面目躍如と言ったものであった。

この間の日本の政治状況は、現在も起り続けている性加害と地続きである日本軍「慰安婦」問題等、侵略戦争の歴史の隠ぺい、選択的夫婦別姓、性的マイノリティ、リプロダクティブ・ヘルス・ライツ、民族差別等に対し、人間の尊厳を踏みにじる抑圧的、差別的政治が罷り通っている。未だ安倍元首相の負の遺産の中でしか政治を行えない事の証左である。日本のジェンダー平等への道は遠い。世界の潮流は、今年のノーベル賞が2人の女性に授与された事でも明白ではないか。特に、イスラム組織ハマスに拠るイスラエルへの襲撃という事態の中、イランの人権活動家ナルゲス・モハンマディさんが平和賞を受賞したことは象徴的である。

ロシア、ウクライナ戦争が始まって

沖縄 民衆宣言



秋山 淳子

ら8年である。玉城知事は辺野古の軟弱地盤に関する国土交通省の承認勧告に対し「承認は困難」と回答。県民投票で沖縄県民の7割以上が、辺野古新基地建設否!と表明しているにもかかわらず、国側は「代執行」という挙にでた。代執行という事態を招いたのは、沖縄の民意を日本社会が自分事として受け止めてこなかった結果だ。

一年余、出口はまだ見つからぬのに、ハマスに拠るイスラエルへの襲撃である。アラブの春は夢であったか。今こそ国際社会が停戦に向けて心一つにする時だ。平和憲法を持つ日本の役割は国際社会の中で大きいのだ。今年の統一地方選挙での杉並の試みを称して「ミニシパリズム(地域主権主義)」という言葉が浮上した。かつて美濃部亮吉氏は「地方自治体は国の上でも下でもない。それ自体一つの政府である」と言った。地方自治は国の根幹である。杉並の例に見るまでもなく、沖縄県はとうに地域主権主義を貫いてきた。人間の命の尊厳という価値を堅持、「命どう宝」という旗を高く掲げ、沖縄県民は闘い続けてきた。9月18日、玉城知事は国連人権理事会で辺野古新基地反対のメッセージを発信した。

東アジアと文化・交易で交流してきた。その土台があるからこそ、2004年の沖縄サミットで「沖縄 民衆宣言」が可能になったのではないか。それは「私達の願う平和とは、地球上の人々が自然環境を大切にし、限られた資源や富を出来る限り平等に分かち合い、決して暴力・軍事力を用いる事なく、異なった文化や価値観を尊重しあって共生することです。それが沖縄の民衆が半世紀にわたる社会的体験から通して得た確信なのです」まさに日本国憲法の理念そのものである。沖縄に学ぶべきはやまとうだ。沖縄を、日本を永久に戦後にするため、今この国の主権者としての我々の覚悟と責任が問われ試されている。戦争という狂気に対峙するには、主権者としての正気しかない。

あぎやま あつこ / 埼玉9条連代表